

中学生・高校生向け



『おじいちゃんとパン』

たな／絵・文
パイインターナショナル ¥980 (税別)

おじいちゃんは甘いパンが大好き。孫のちびすけと一緒に、ジャムやつぶあんを塗ったパンを食べながら、孫の成長を優しく見守る。おじいちゃんの愛情とおいしいパンの味が混ざり、温かい気持ちになれる一冊。



『かがみの孤城』

辻村深月／著
ポプラ社 ¥1,800 (税別)

不登校の中学生ころはある日、光る鏡に引き込まれ鏡の城の中へ。城に集められた7人の中学生たちはどんな願いも叶う部屋の鍵を探すことになる。現実世界を逃れ、自分がありのままに肯定される場所を探し、見つけた答えとは…。



『がっかり行進曲』

中島たい子／著
筑摩書房 ¥740 (税別)

大事な時に喘息の発作が起きてしまい、「がっかり」の経験だけは誰にも負けない実花。小学生から高校生までの成長が描かれる。「たくさんがっかりしたんだから、きみは無敵だよ。もっと堂々としてなさい」という先生の言葉が心に響く。



『カレーライスを一から作る』

前田亜紀／著
ポプラ社 ¥1,200 (税別)

探検家・関野吉晴が、美術大学の学生たちとカレーライスを始めから作ることに挑戦する。ご飯、野菜、肉など、植物や動物を育て、お皿やスプーンまで作り、食べる。食べる、生きることについて考えるドキュメンタリー。



『九時の月』

デボラ・エリス／作 もりうちすみこ／訳
さ・え・ら書房 ¥1,600 (税別)

イランの名門女子校に通う少女ファリン。学校でも家庭でも居心地の悪さを感じていたが、転校生のサディエラと出会い、新鮮な思いを募らせる。しかし、2人の愛は伝統や宗教からは許されないことだった。実在の女性がモデルの作品。



『恋する熱気球』

梨屋アリエ／著
講談社 ¥1,200 (税別)

恋する気持ちや友人関係などの思春期の悩み、戸惑いをユーモラスに描いた5つの物語が収録された青春小説短編集。様々な思いを抱えた中学生が繰り広げる、等身大でちょっと不思議な作品。



『知らなかった、ぼくらの戦争』

アーサー・ビナード／編著
小学館 ¥1,500 (税別)

アメリカには、日本のように戦後何年という言葉はないようだ。そのアメリカで生まれ育った詩人が、太平洋戦争を体験した日本人を訪ね歩き、23名の声を拾い集めた。戦争を知らない私たちが、戦争について考えるきっかけとなる本。



『正しいコピペのすすめ』

宮武久佳／著
岩波書店 ¥860 (税別)

私たちの生活には著作権が密接に関わっている。SNSでの情報発信やレポートの作成、部活動に使う楽譜など、コピペやコピーをする時に悩んだら、著作権について知るチャンス。身近な事例から著作権について分かりやすく解説する。

その他のおすすめの本

●『命の意味命のしるし』

上橋菜穂子、齊藤慶輔／著 講談社 ¥1,200 (税別)

●『おおきく考えよう』

ペーテル・エケベリ、イェンス・アールボム／著 枇谷玲子／訳 晶文社 ¥1,500 (税別)

●『君が夏を走らせる』

瀬尾まいこ／著 新潮社 ¥1,500 (税別)

●『10代のための仕事図鑑』

大泉書店編集部／編 大泉書店 ¥1,400 (税別)

●『世界は変形菌でいっぱいだ』

増井真那／著 朝日出版社 ¥1,800 (税別)

●『太陽と月の大地』

コンチャ・ロペス＝ナルバエス／著 宇野和美／訳 松本里美／画 福音館書店 ¥1,600 (税別)

●『ナビラとマララ』

宮田律／著 講談社 ¥1,200 (税別)